

ゴーヘッズ 速報

Goaheads

第22号 平成22年 7月11日

哲也の柵越えで、追撃を見せたが、余計な失点が響いたゲーム

	1	2	3	4	5	6	7	R
T	1	0	1	4	0			6
G	0	0	3	1	1			5

すべき事が出来ずに敗戦！



7/11(日)三つ池公園野球場に向き、区民大会2回戦を戦った。結果は非常に残念な結果に終わり、悲願の3回戦進出はならなかった。敗因を振り返ると、やはりエラーの数であろう。今期最多タイの6個を大事なゲームで出してしまった。エラーは結果なので、決してその結果は恐れないで欲しい。ボールに触らなければ、エラーは記録されないからである。

しかし、単打で済んだ打球を処理の誤りにより進塁。捕球ミスにより、その後慌てて送球エラー、自身の守備範囲が把握出来なかったが故に、エラーに繋がる。こんなシーンが見受けられた。やはり、これは、言うまでも無く、基本に忠実にであろう。たかが、キャッチボール、たかが捕球、たかが送球。しかし、どれを取って見てもすべてにおいて、されどが付く事を忘れて欲しい。この仮は、来年に持ち越すが、参加したメンバーはこの悔しさを、持ち続けて欲しい。

そんな中で、最終回の哲也の柵越えは、非常に綺麗であった。打撃下降中の深沢にも、きっかけとなる1本が出た。そして、打撃低迷中の政司も田島に差をつける、2本目が出た。コーすけは攻守に貢献。瀧本も大事な時に、上手く叩いた。山田の守備範囲の広さは恐らくチーム1であろう！外野から声を出し、チームを叱咤したジロー、そして、一番悔しさを感じた達脇、今日のこの気持ちをおぼれる事無く、今後に繋げて欲しい。

我がチームの環境は、幸いにも恵まれているかも知れない。

それをもっと有効に利用して欲しい。チーム集合時間は、マリンを基本にしているが、これは、ゲーム前に打撃練習を行って欲しい、という思いからである。バッティングセンターでも打撃練習は出来る。しかし、マシンでの打撃と人間相手の練習は全く違うのである。そして、打球の処理もただ単に、ボール拾いをしているという気持ちではなく、如何にスムーズに打球に入るかなどを意識して貰えば、効果は有ると思う。余りにも地理的に非効率であったり、集合前に予定があったりなど、その時の理由により、集合出来ない時もあるだろう。その時はその時だが、野球は数人でやるスポーツでは無いということですから・・・

さー、今週は、ライバルチームの「PIOLAX」戦です。大勝し、ゴーヘッズは強くなったところを見せ付けよう！

まずは、借金のボールを返してからね！